

## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日

上場会社名 蛇の目マシン工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6445 URL <https://www.janome.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 真  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 小林 裕幸 (TEL) 042-661-3071  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	17,301	△9.8	317	△30.8	269	△58.0	60	△83.7
2019年3月期第2四半期	19,189	△5.3	458	△51.0	642	△41.7	370	△49.5

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △322百万円( —%) 2019年3月期第2四半期 795百万円(△32.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	3.12	—
2019年3月期第2四半期	19.17	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	49,930	25,228	48.9
2019年3月期	50,657	25,873	49.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 24,402百万円 2019年3月期 25,020百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2020年3月期	—	0.00			
2020年3月期(予想)			—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	△5.6	1,000	△13.1	1,000	△26.4	600	△31.8	31.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期2Q	19,521,444株	2019年3月期	19,521,444株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	189,934株	2019年3月期	189,826株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期2Q	19,331,544株	2019年3月期2Q	19,331,625株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、堅調な個人消費にけん引された米国や雇用の増加が続く欧州を中心に景気は緩やかに回復いたしました。一方で、未だ収束の兆しが見えない米中貿易摩擦問題等により、世界貿易は減少に転じるなど、景気の下振れリスクは解消されず、先行き不透明感は依然として残りました。

わが国経済におきましては、緩やかな回復基調を維持したものの、不確実性が高まる世界経済を背景に輸出環境の悪化が続き、製造業を中心に景気減速懸念が強まりました。

このような中、当社グループにおきましては、家庭用ミシン及び産業機器において新製品を投入し、各種展示会等を通じて需要喚起に努めました。また、中期経営計画で策定した各種施策の実現に向け、全社一丸となって取り組んでおります。

しかしながら当社グループを取り巻く経営環境は厳しく、当第2四半期の売上高は17,301百万円（前年同期比1,887百万円減）、営業利益は317百万円（前年同期比140百万円減）、経常利益は269百万円（前年同期比372百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は60百万円（前年同期比310百万円減）となりました。

セグメント別の概要は、次のとおりであります。

#### <家庭用機器事業>

家庭用機器事業におきましては、北米ではディーラーを対象とした新製品発表会「インスティテュートインパクト2019」を4年ぶりに開催し、販売の更なる強化に努めました。また、同インスティテュートで発表した海外向け新製品2機種を中心に需要喚起に努めたことで、北米市場向け販売は一定の成果を残しました。

一方で経済の先行きに不確実性が残る欧州市場や米国の経済制裁により波及的影響を受けた新興国市場では依然として苦戦が続きました。

その結果、海外・国内ミシンの販売台数は64万台（前年同期比10万台減）、家庭用機器事業全体の売上高は13,029百万円（前年同期比1,034百万円減）、営業利益は421百万円（前年同期比159百万円増）となりました。

#### <産業機器事業>

産業機器事業におきましては、新集塵方式基板分割ロボットなど、顧客ニーズに対応した新製品を投入し、展示会への出展等を通じて需要喚起に注力するとともに、ブランド力の強化及び知名度の更なる向上に努めました。また、有望市場であるメキシコやインドへ積極的な営業活動を展開し、販路拡大に注力いたしました。

しかしながら、依然として米中貿易摩擦の影響は根強く、中国国内での設備投資の減退を受け、卓上ロボット・サーボプレスの販売ならびにダイカスト鑄造関連事業は低調に推移いたしました。

その結果、産業機器事業全体の売上高は2,926百万円（前年同期比710百万円減）、営業損失は209百万円（前年同期は144百万円の営業利益）となりました。

#### <IT関連事業>

ITソフトウェア開発や情報処理サービス、システム運用管理の受託等を行うIT関連事業の売上高は1,006百万円（前年同期比136百万円減）、営業利益は105百万円（前年同期比33百万円増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産は49,930百万円（前連結会計年度末比726百万円減）となりました。

資産の部では、流動資産が現金及び預金の減少等により22,204百万円（前連結会計年度末比485百万円減）となりました。固定資産は有形及び無形固定資産の減価償却等により27,726百万円（前連結会計年度末比240百万円減）となりました。

負債の部は、流動負債が支払手形及び買掛金の減少、短期借入金の増加等により16,331百万円（前連結会計年度末比31百万円減）となり、固定負債は退職給付に係る負債の減少等により8,371百万円（前連結会計年度末比49百万円減）となりました。

純資産の部は、利益剰余金、為替換算調整勘定の減少等により25,228百万円（前連結会計年度末比645百万円減）となりました。

### [キャッシュ・フローの状況]

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末から352百万円減少し、5,739百万円（前年同期比247百万円減）となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益269百万円、仕入債務の減少616百万円、たな卸資産の増加235百万円などによる資金の増減があり、646百万円の資金の減少（前年同期は847百万円の資金の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備・金型等の有形固定資産の取得による支出377百万円などにより、392百万円の資金の減少（前年同期は400百万円の資金の減少）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加1,289百万円などにより、812百万円の資金の増加（前年同期は630百万円の資金の減少）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間における業績の動向を踏まえ、2019年5月10日に公表いたしました2020年3月期通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,715	6,222
受取手形及び売掛金	6,827	6,888
商品及び製品	5,391	5,313
仕掛品	589	695
原材料及び貯蔵品	2,841	2,798
その他	606	549
貸倒引当金	△282	△263
流動資産合計	22,689	22,204
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,874	5,715
土地	14,440	14,427
その他（純額）	2,739	2,737
有形固定資産合計	23,053	22,880
無形固定資産		
その他	1,071	970
無形固定資産合計	1,071	970
投資その他の資産	3,842	3,875
固定資産合計	27,967	27,726
資産合計	50,657	49,930

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,727	2,047
短期借入金	10,344	11,545
未払法人税等	264	186
賞与引当金	506	595
その他	2,520	1,957
流動負債合計	16,363	16,331
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	3,433	3,433
退職給付に係る負債	4,032	3,990
その他	954	947
固定負債合計	8,420	8,371
負債合計	24,783	24,702
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,372	11,372
利益剰余金	7,803	7,574
自己株式	△325	△325
株主資本合計	18,851	18,621
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	114	104
土地再評価差額金	6,660	6,660
為替換算調整勘定	△358	△800
退職給付に係る調整累計額	△246	△184
その他の包括利益累計額合計	6,169	5,780
非支配株主持分	852	826
純資産合計	25,873	25,228
負債純資産合計	50,657	49,930

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	19,189	17,301
売上原価	11,811	10,329
売上総利益	7,377	6,971
販売費及び一般管理費	6,919	6,654
営業利益	458	317
営業外収益		
受取利息	10	10
受取配当金	40	42
為替差益	122	—
その他	103	65
営業外収益合計	277	118
営業外費用		
支払利息	40	48
為替差損	—	52
その他	51	65
営業外費用合計	92	166
経常利益	642	269
特別利益		
固定資産売却益	28	0
特別利益合計	28	0
特別損失		
固定資産除売却損	6	0
特別損失合計	6	0
税金等調整前四半期純利益	665	269
法人税、住民税及び事業税	267	216
法人税等調整額	23	6
法人税等合計	291	223
四半期純利益	373	46
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2	△14
親会社株主に帰属する四半期純利益	370	60



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	373	46
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	△9
為替換算調整勘定	341	△421
退職給付に係る調整額	67	61
その他の包括利益合計	421	△368
四半期包括利益	795	△322
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	769	△328
非支配株主に係る四半期包括利益	26	6

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	665	269
減価償却費	667	675
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△80	△68
受取利息及び受取配当金	△51	△52
支払利息	40	48
売上債権の増減額 (△は増加)	63	△181
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△507	△235
仕入債務の増減額 (△は減少)	337	△616
その他	△33	△220
小計	1,102	△382
利息及び配当金の受取額	54	56
利息の支払額	△40	△48
法人税等の支払額	△269	△271
営業活動によるキャッシュ・フロー	847	△646
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△207	△188
定期預金の払戻による収入	159	261
有形固定資産の取得による支出	△385	△377
有形固定資産の売却による収入	53	3
その他	△20	△90
投資活動によるキャッシュ・フロー	△400	△392
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△349	1,289
配当金の支払額	△191	△286
その他	△90	△190
財務活動によるキャッシュ・フロー	△630	812
現金及び現金同等物に係る換算差額	53	△126
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△131	△352
現金及び現金同等物の期首残高	6,118	6,091
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,987	5,739

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	家庭用機器	産業機器	I T関連	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,063	3,636	1,142	18,842	346	19,189
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18	421	221	661	175	837
計	14,081	4,058	1,364	19,504	522	20,027
セグメント利益	261	144	71	478	△38	439

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	478
「その他」の区分の損失(△)	△38
セグメント間取引消去	18
四半期連結損益計算書の営業利益	458

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	家庭用機器	産業機器	I T関連	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,029	2,926	1,006	16,961	339	17,301
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16	268	225	511	179	691
計	13,045	3,195	1,232	17,473	519	17,992
セグメント利益又は損失(△)	421	△209	105	317	△16	301

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	317
「その他」の区分の損失(△)	△16
セグメント間取引消去	16
四半期連結損益計算書の営業利益	317